

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日	11月 ~26日	12月 ~3日	12月 ~10日	12月 ~17日
カンピロバクター	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	18	28	34	29	25	20	14
病原性大腸菌	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	18	21	18	16	26	19	20
腸管出血性大腸菌	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	4	8	4	0	1	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	4	1	4	0	5	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	3	4	5	3	2	3	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	2	0	1	0	1	0	0
ロタウイルス	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
ノロウイルス	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	0	0	2	5	5	3	5

広島県感染症発生動向週報

平成29年第50週(12月11日~12月17日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	9	結核	9	2	1		1	2	2	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1	
四類	5	A型肝炎	1					1			
		つつが虫病	3	2			1				
		デング熱	1				1				
五類全数	6	アメーバ赤痢	1	1							
		ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1							1	
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							
		梅毒	3					2	1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第50週 12/11~12/17)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり7.62人と、前週と比べて約1.9倍に増加し、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第50週に10件、第51週(12月18日~12月24日)に8件(12月18日現在)と報告が続いており、注意が必要です。

なお、第50週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が83人、B型陽性が17人報告されています。

ワクチン接種や手洗い、咳エチケットの励行などで感染予防に努めましょう。

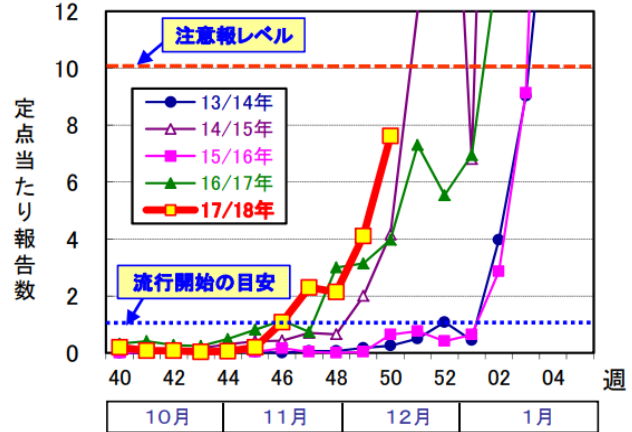
2. つつが虫病

1件の報告があり、今年の累計は15件(第46週から50週間の報告は14件)となりました。

3. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は58件となりました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィルン	インフルエンザ	282	7.62	1.97		▲	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.88		
小児科	咽頭結膜熱	11	0.46	0.46		▶	眼科	RSウイルス感染症	19	0.79	0.92		◀
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	2.79	2.70		▶		急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	感染性胃腸炎	270	11.25	15.76		▶		流行性角結膜炎	6	0.75	0.80		
	水痘	19	0.79	1.30		▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	21	0.88	0.49		▲		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.11		
	伝染性紅斑	-	-	0.41				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.60		
	突発性発しん	5	0.21	0.42				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	1	0.04	0.06				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.07									

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ◻ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	133	男性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	A型肝炎	1	3	男性(10歳代)
4	つつが虫病	1	15	男性(80歳代)
4	デング熱	1	3	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	2	58	男性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 咽頭炎 麻疹	2	男	2017/11/10	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス7型
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2017/11/13	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載